

**第5次計画 茨木っ子プランネクスト5.0「一人も見捨てへん教育」をめざして**

- ① これからの社会を生きる力を育む。(非認知能力「茨木っ子力」の育成)
- ② とともに学びともに生きる教育を進める。
- ③ 確かな言語力を育む。
- ④ いじめ不登校対策を充実させる。



**茨木っ子力**

<b>自分力</b> 自分と向き合い高める力 自己肯定感 自己抑制 自信	<b>つながり力</b> 他者を思いやりつなげる力 協力 リスペクト コミュニケーション	<b>ゆめ力</b> 未来に向かって努力できる力 目標設定 チャレンジ 継続・レジリエンス	<b>学び力</b> 興味関心を広げ意欲的に学ぶ力 興味関心 課題解決 振り返り力
--	--	---	---



<b>自己</b> 自分と向き合う子ども	<b>協調</b> 仲間と協力し認め合う子ども	<b>挑戦</b> 挑戦し続けて未来を切り拓く子ども
-------------------------	----------------------------	-------------------------------

**畑田小学校 学校教育目標とめざす子ども像**

**学校運営委員会**

- ・グランドデザインをもとにした学校運営をはかる。
- ・めざす子ども像の具現化に向けて取り組む。
- ・各部会の取り組みの統括を行う。
- ・学校運営協議会との連携をはかる。

**めざす子ども像の具現化に向けて**

**研究部会**

	人権教育・支援教育部会	学力向上・授業力向上部会
テーマ	「一人ひとりを大切に、共に学び、認め合える集団を育てる。」	「学び力と授業力を高める」 ・学び力を高めるとは、児童に対して、成長を促せるような研究をする。 ・授業力を高めるとは、教師自身が、よりよい授業実践のための力をつける。
めざす子ども像	一人ひとりのちがいを認め合える子ども ～『みんな』で学ぶためには～	興味関心を広げ、意欲的に学ぶ子ども ・様々なことに興味関心を持つ。 ・疑問や不思議に感じたことを解決するために行動することができる。 ・学びや経験を新しい考えや行動につなげることができる。
めざす教育	・人権尊重の精神に徹し、全教育活動の中で人権教育をあらゆる機会に行い、共に生きることの大切さを学ばせる。 ・学校のUD（ユニバーサルデザイン）化の推進	・長期的な目線で児童の実態に即して、成長を促せるようにする。 ・効果的にフィードバックを行い、成長の方向を示す。 ・授業実践の中での教師の実感を大切に、その実感を常に日々の授業改善に生かす。

情報教育部会	生活指導部会	いじめ対策委員会
情報活用の実践力 ・課題や目的に応じた情報手段の適切な活用 ・必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造 ・受け手の状況などを踏まえた発信・伝達 情報の科学的な理解 ・情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解・情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な 理論や方法の理解 情報社会に参画する態度 ・社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響の 理解 ・情報のモラルの必要性や情報に対する責任・望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度	【生活指導目標】 ①学校生活を送る上で必要な基本的な生活習慣を養い、いじめを許さない人権尊重を基盤とする社会性を身につけさせる。 ②「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめを防ぐために児童の実態を把握して全職員の共通理解を図る。 【生活指導の重点内容】 ①校内研修の充実 ②集団のきまりを守る ③安全な生活を送る ④保護者・地域社会との連携	

**地域連携 保幼小中連携 他教育機関連携**

学校運営協議会 不登校・虐待対策委員会	西中学校区における園・所・学校とのつながり	京都芸術大学 対話型鑑賞実践プログラム
------------------------	-----------------------	------------------------